

第2回 四万十町地域公共交通活性化協議会 議事録要旨

- 開催日時：令和5年10月17日（火） 10時00分～11時15分
 - 会場：四万十町農村環境改善センター 多目的ホール
 - 出席者：森武士（本協議会会長 四万十町 副町長）、別府慶一（高知県中山間振興・交通部交通運輸政策課 課長）、山本圭（国土交通省四国運輸局高知運輸支局 総務・企画観光部門 首席運輸企画専門官）、宮野広至（国土交通省四国運輸局高知運輸支局 輸送・監査部門 首席運輸企画専門官）、長谷川涼（高知県窪川警察署 交通課長）、田中輝希（高知県須崎土木事務所 四万十町事務所 工務課長）、田岡弘久（四国旅客鉄道株式会社 高知企画部長）代理：川崎佳孝、猪野健良（株式会社四万十交通 路線事業部 総務課）、三浦ひろみ（有限会社丸三ハイヤー 専務取締役）、國元豊美（住民または旅客）、谷崎直子（住民または旅客）、船村覺（四万十町区長連絡会 会長）、植村耕平（医療法人川村会くぼかわ病院 総括課長兼危機管理室長）、吉川耕司（四万十町国保診療所 事務長）、牧野利恵子（社会福祉法人しまんと町社会福祉協議会 会長）、佐藤明（特定非営利活動法人地域支援の会 さわやか四万十 移動支援コーディネーター）、濱崎隆（株式会社ハマヤ 代表取締役社長）、北村光司（一般社団法人四万十町観光協会 事務局長）、三本明子（高齢者支援課 課長）代理：福留宏知
 - 欠席委員：西内裕晶（高知県公立大学法人高知工科大学システム工学群 教授）、浜田章克（教育委員会 教育次長）
 - 随行者：藤田匠（高知県中山間振興・交通部交通運輸政策課）、古川歩昂（国土交通省四国運輸支局 交通政策部 交通企画課）
 - 事務局等：川上武史、中川貴之、柴優樹、久保田啓嗣（四万十町役場 企画課）
真城和也、谷岡美希（大正地域復興局 地域復興課）
富田努、西内隆朗（十和地域復興局 地域復興課）
土居貴之、藤田順也（合同会社えこ・まち研究室）
-

1. 森会長開会あいさつ

最近では、コロナの定点観測の数値も落ち着きつつある中で、様々な地区でイベントが開催されている。これからも土佐の豊穰祭の米こめフェスタや知事選挙など、大きなイベントが行われる。関係する委員の皆さんには支援と協力をいただきたい。

本日の会議では、報告事項として2件と協議事項が1件ある。委員の皆さんには忌憚らない意見をいただきたい。

※ 事務局より委員、21名の内19名の出席により、会議成立を報告。

・委員あいさつ

（別府委員）

- コロナの影響で交通需要が戻らないことや、人口減少の影響、運転手の不足などの問題もあり、公共交通事業者は厳しい状況が続いている。高知県としても今年度は、中山間地域再興ビジョンの計画を立てて、地域の生活を支えるための公共交通の移動手段を100%確保できることを目標としている。本日いただける意見を県の計画にも活かし、市町村と一緒に、公共交通の維持や活性化を取り組んでいきたいと考え

る。

2. 副会長の選任について

会長の指名により、社会福祉法人しまんと町社会福祉協議会 会長 牧野利恵子委員が副会長に就任。

3. 報告事項

(1) 四万十町地域公共交通網形成計画の検証

(2) 四万十町地域公共交通計画の策定に向けた調査の実施

事務局より、資料 1「四万十町地域公共交通網形成計画の検証」、資料 2「四万十町地域公共交通計画の策定に向けた調査の実施」、資料 2-1「地区別意見交換会の結果」、資料 2-2「コミュニティバス利用者アンケート調査の結果」、資料 2-3「コミュニティバス利用者懇談会の結果」、資料 2-4「公共交通利用の現状整理」について説明。

【質疑応答及び意見の提示】

(佐藤委員)

- 四万十町地域公共交通計画は何年計画になるのか。

(事務局より回答)

⇒ 四万十町地域公共交通計画については、5 年間の計画で考えている。

(佐藤委員より意見)

⇒ 5 年計画の際に意見交換会などで意見を聞いていくものなのか。住民の状況は日々変化していくので、意見交換会などは毎年開催していく必要があると考える。

(事務局より回答)

⇒ 計画策定する関係なくコロナ以前は、意見交換会などを毎年開催していた。今年はコロナも落ち着いてきたので、計画作成と合わせて意見交換会などを開催している。いただいた意見は、公共交通計画に反映させていきたい。

(國元委員)

- コミュニティバス利用者アンケートは、利用している方のみになるのか。今後利用者を増やしていきたいのであれば、地域単位でアンケートを取ればいいのか。バスの利用を考えている人の意見も得られるのではないのか。

(事務局より回答)

⇒ 地区別意見交換会では、バスの利用に限らず集まってもらい、意見をいただいている。一旦は、現在バスを利用している利用者の意見を先行していただいている。今後は、バスを利用していない人の意見など、形をかえて聞いていく必要がある。区長会や民生委員などを活用して個別でヒアリングしていくことも考えている。

(谷崎委員)

- 事前送付の資料にいろいろ書き込んでいるのに、当日資料変更になると困る。

(事務局より回答)

⇒ 事前送付した資料から、資料の構成を変えて、新たな資料として配付している。
次回以降はこのような資料変更がないよう気をつける。

※ 資料の構成（資料番号、順序の入れ替え）のみ変更し、内容は委員への事前送付と変更はしていない。

(國元委員)

- 資料1の「完了している」と「未実施」の色彩が分かりづらいので、分かりやすい色彩に変えてもらいたい。

(事務局より回答)

⇒ 次回以降は見やすいよう改善していく。

(船村委員)

- 資料2-1、17ページ、興津地区の現状について、8月に意見交換会をした際は、移動スーパーのとくし丸が来ていなかったが、9月から毎週金曜日11時からとくし丸が来てもらえるようになっているので訂正していただきたい。

(事務局より回答)

⇒ 「地区内には移動スーパーが来ていない。地区内の店舗を守るため、とくし丸の打診を断ったことがあり、その後はお願いしても来てもらえていない。」の文言は訂正する。

4. 協議事項

(1) 四万十町地域公共交通計画のとりまとめ方針

事務局より、資料3「四万十町地域公共交通計画のとりまとめ方針」について説明。

【質疑応答及び意見の提示】

(谷崎委員)

- 地区別意見交換会などで出た意見は、実現できるよう検討していただきたい。その中で、大正地域の西ノ川バス停まで行くことが大変なので、地区の上までバスに上がってきてもらいたいという要望をいただいている。待合所については、十川地区に一つ設置してほしい。昭和地区については、区長との話し合いで、空き家を貸し出してもらい待合所をしている。

(國元委員)

- 窪川地域はバス停まで行かずにフリー乗降で利用している人が多いので、待合所がほしいとの意見はあまりないのではないか。
- 今現在コミュニティバスは商業施設などを回って窪川駅へ行っているが、窪川駅からタクシーなどを利用して目的地に行けるほうが高齢者にとっては利用しやすいのではないかと。窪川の中心部に行ってから移動が大変である。中心部をワンコインで利

用できるバスがあればバスを利用する人が増えるのではないかな。

(三浦委員より意見)

⇒ タクシーも公共交通の一つである。コミュニティバスが拡充することにより、利用者の移動手段が確保されることは喜ばしいことだと考える。タクシーは、コミュニティバスの運賃より高い。ただ、タクシーは自分の好きな時間に好きな場所へ移動できる。住民の日々の生活も大事だがタクシーも見捨てずに利用を促進してもらいたい。

(会長より回答)

⇒ 窪川の中心部に来てからの移動手段として、タクシーの出番があるのではないかと考える。計画の中でタクシーを活用した取り組みも考えていきたい。

四万十町地域公共交通計画のとりまとめ方針：異議なし承認

5. その他

(1) 事業推進スケジュール

事務局より、資料4「事業推進スケジュール」を説明。

【質疑応答及び意見の提示】

(谷崎委員)

○ 鉄道、路線バス、コミュニティバスの接続をできるようにしていただきたい。現状午前中は鉄道とバスが接続しているが、帰ってくる便で接続できていないので、接続できるよう検討していただきたい。

(事務局より回答)

⇒ 鉄道とバスの接続ができるよう検討していくが、予土線と土讃線の接続はJRになるので、町として接続できるよう要望していく。その補完の部分でバスによる接続を考えていきたい。

(國元委員)

○ 1月に行うパブリックコメントについて、多くの町民に周知できるよう情報発信を考えてもらいたい。

(事務局より回答)

⇒ パブリックコメントについては、四万十町の条例上手段が決まっている。その手段とは別に、より町民の方に計画書を見てもらえるように考えて行きたい。情報発信の方法としては、概要版の作成や時期が合えば計画書案を持って区長会などで説明をすることが考えられる。どうすればいいのか事務局の方で検討していきたい。

(佐藤委員より提案)

⇒ あったかふれあいセンターやふれあいサロンなどの集まりに行って、聞き取り調

査をすることは可能なのか。

(事務局より回答)

⇒ 地区別意見交換会は、あったかふれあいセンターなどの集まりの場でも行っている。パブリックコメントの中で聞き取り調査を行うことは、日程的な事もあるので、出来る場所と出来ない場所が出てくると考える。そういった場を活用して意見をいただくことは、積極的に行っていきたい。

(國元委員より意見)

⇒ 回覧板で回す場合は、高齢者が見てもらえるよう工夫をしてもらいたい。

(事務局より回答)

⇒ 事務局の方で考えさせていただく。

牧野副会長閉会あいさつ

多くの方の意見を地域公共交通計画に反映できればと考える。町民にとっては、公共交通は大事な生活手段であるので、この協議会で意見を重ねながらよりよい町にとっての公共交通になっていけばと考える。

6. 閉会 11:15